

14時30分解禁

平成23年4月 全国百貨店売上高概況

平成23年5月19日

I. 概 況

1. 売上高総額	4,750億円余
2. 前年同月比	-1.5% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 254店 (平成23年3月対比-3社・-5店)
4. 総店舗面積	6,414,061㎡ (前年同月比:-1.9%)
5. 総従業員数	89,386人 (前年同月比:-7.2%)
6. 3か月移動平均値	9-11月 -1.6%、10-12月 -0.6%、11-1月 -1.1%、 12-2月 -0.8%、1-3月 -5.4%、2-4月 -5.8%

【参考】平成22年4月の売上高増減率は-3.7% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

2か月連続の前年同月比マイナスであるが、減少率は東日本大震災の影響が強く出た3月の実績(-14.7%)から大幅に改善し、ほぼ前年並みの水準まで回復してきた。

4月は、一部に震災の影響を残しながらも、全般的な商況としては、日を追って自粛ムードが和らいできたことに加え、計画停電の解除で多くの店が通常の営業体制に戻したこと、さらには3月の買い控えの反動や好天に恵まれたこともあって、主力の春物ファッション商材を中心に活発な動きが見られるなど、前月から一転して堅調に推移する結果となった。

具体的な動向としては、仙台地区(-25.8%)では店舗の復旧工事で全館営業が月の後半までずれ込んだこと、美術・宝飾・貴金属(-8.9%)等の高額商材が伸び悩んだことなどマイナス要素がある一方、プラス要素としては、土曜日が前年に比べて一日増えたことのほか、大阪地区ではこの春に増床・リニューアルを完成した店舗が押上げ効果(+4.7%)を発揮したこと、福岡地区では新店オープンで既存店は前年割れしたものの店舗調整前の総売上高では大幅な伸び(+21.6%)を示したこと、などが報告されている。

【要 因】

- (1) 天 候 : 気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
◇ 月前半は冷涼な高気圧に覆われて晴れの日が多かった。月後半は、高気圧と低気圧が交互に通過し天気は数日の周期で変わった。局地的に激しい雨や雷雨となり竜巻などの突風も発生した。
- (2) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 10日 (// +1日/土曜1日増)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 37店、②変化なし: 35店、③減少した: 60店、④不明: 41店
- (5) 4月歳時記 (春物商戦、新生活、花見、昭和の日) の売上 (同上)
①増加した: 15店、②変化なし: 46店、③減少した: 43店、④不明: 69店
- (6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 10店、②変化なし: 76店、③減少する: 36店、④不明: 51店

全国百貨店 売上高速報 2011年04月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	475,021,774	100.0	-1.5 (-2.0)
10都市	307,068,008	64.6	-1.8 (-1.3)
札幌	11,992,370	2.5	0.7
仙台	4,579,950	1.0	-25.8
東京	114,732,061	24.2	-5.5 (-5.9)
横浜	27,919,764	5.9	1.9 (1.1)
名古屋	27,517,848	5.8	0.8 (-2.4)
京都	19,103,650	4.0	-1.8 (-3.4)
大阪	61,044,633	12.9	4.7
神戸	13,905,080	2.9	1.2
広島	11,183,923	2.4	-0.2
福岡	15,088,729	3.2	-5.3 (21.6)
10都市以外の地区	167,953,766	35.4	-1.1 (-3.1)
北海道	2,789,960	0.6	-5.4
東北	8,299,672	1.7	2.2 (-13.8)
関東	80,841,452	17.0	-1.9 (-3.9)
中部	13,210,957	2.8	-2.7
近畿	16,509,166	3.5	2.4
中国	11,695,355	2.5	-0.8
四国	8,907,640	1.9	-0.9
九州	25,699,564	5.4	-0.5 (-2.1)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	475,021,774	100.0	-1.5 (-2.0)
紳士服・洋品	32,607,090	6.9	-1.8 (-2.0)
婦人服・洋品	112,840,518	23.8	-0.5 (-1.6)
子供服・洋品	16,798,644	3.5	4.5 (4.3)
その他衣料品	11,958,573	2.5	-3.9 (-5.5)
衣 料 品	174,204,825	36.7	-0.5 (-1.4)
身のまわり品	60,699,583	12.8	-0.9 (-0.9)
化粧品	25,970,516	5.5	-1.1 (-1.3)
美術・宝飾・貴金属	20,603,468	4.3	-8.9 (-9.3)
その他雑貨	21,130,437	4.4	-0.7 (-0.8)
雑 貨	67,704,421	14.3	-3.5 (-3.8)
家 具	6,155,219	1.3	-6.2 (-6.4)
家 電	1,279,048	0.3	-17.3 (-17.6)
その他家庭用品	17,321,711	3.6	-2.7 (-3.5)
家 庭 用 品	24,755,978	5.2	-4.4 (-5.1)
生 鮮 食 品	26,749,765	5.6	-0.1 (-0.4)
菓 子	31,552,484	6.6	1.6 (2.8)
惣 菜	27,025,583	5.7	-0.2 (0.3)
その他食料品	33,413,007	7.0	-2.8 (-3.7)
食 料 品	118,740,839	25.0	-0.5 (-0.4)
食 堂 喫 茶	12,985,138	2.7	-4.6 (-4.8)
サ ー ビ ス	6,014,351	1.3	-1.5 (-3.2)
そ の 他	9,916,639	2.1	-10.3 (-11.5)
商 品 券	19,453,586	4.1	-0.4 (-0.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -1.8% (店舗数調整後／2か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.1% (" ／2か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-1.8	-1.2	2か月連続マイナス
札幌	0.7	0.0	14か月ぶりプラス
仙台	-25.8	-0.3	2か月連続マイナス
東京	-5.5	-1.4	2か月連続マイナス
横浜	1.9	0.1	2か月ぶりプラス
名古屋	0.8	0.0	2か月ぶりプラス
京都	-1.8	-0.1	2か月連続マイナス
大阪	4.7	0.6	9か月ぶりプラス
神戸	1.2	0.0	9か月ぶりプラス
広島	-0.2	0.0	38か月連続マイナス
福岡	-5.3	-0.1	33か月連続マイナス
10都市以外の地区	-1.1	-0.4	2か月連続マイナス
北海道	-5.4	0.0	6か月連続マイナス*
東北	2.2	0.0	37か月ぶりプラス*
関東	-1.9	-0.3	2か月連続マイナス
中部	-2.7	-0.1	2か月連続マイナス
近畿	2.4	0.1	2か月ぶりプラス
中国	-0.8	0.0	2か月連続マイナス*
四国	-0.9	0.0	46か月連続マイナス
九州	-0.5	0.0	44か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、2か月連続で全品目がマイナスとなった。しかし、下げ幅は各品目とも先月より大きく改善し、特に衣料品と食料品は-0.5%の微減となった。また、子供服・洋品が6か月ぶり、菓子が2か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.5	-	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.8	-0.1	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-0.5	-0.1	2か月連続マイナス
子供服・洋品	4.5	0.2	6か月ぶりプラス
その他衣料品	-3.9	-0.1	38か月連続マイナス
衣料品	-0.5	-0.2	2か月連続マイナス
身のまわり品	-0.9	-0.1	2か月連続マイナス
化粧品	-1.1	-0.1	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-8.9	-0.4	50か月連続マイナス*
その他雑貨	-0.7	0.0	41か月連続マイナス*
雑貨	-3.5	-0.5	38か月連続マイナス
家具	-6.2	-0.1	41か月連続マイナス
家電	-17.3	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-2.7	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	-4.4	-0.2	2か月連続マイナス
生鮮食品	-0.1	0.0	6か月連続マイナス*
菓子	1.6	0.1	2か月ぶりプラス*
惣菜	-0.2	0.0	6か月連続マイナス*
その他食料品	-2.8	-0.2	2か月連続マイナス*
食料品	-0.5	-0.1	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-4.6	-0.1	6か月連続マイナス
サービス	-1.5	0.0	5か月連続マイナス
その他	-10.3	-0.2	13か月ぶりマイナス
商品券	-0.4	0.0	2か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成23年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年5月19日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,147億円余
2. 前年同月比	-5.5% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.9%(88.7%) : 非店頭-16.3%(11.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成23年3月対比-1社・-2店)
5. 総店舗面積	937,107㎡ (前年同月比:0.3%)
6. 総従業員数	19,302人 (前年同月比:-8.7%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 -0.2%、10-12月 0.8%、11-1月 0.4%、 12-2月 0.8%、1-3月 -6.6%、2-4月 -9.2%

[参考] 平成22年4月の売上高増減率は-4.9% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

- (1) 都内各店の4月の入店客数は概ね1割前後減少したが、その背景には、東京の場合、特に初旬まで営業時間を短縮した店舗が多かったことや、一部催事を延期又は中止するケースが発生したことなどがあげられる。加えて、消費者が外出を控える傾向も広がったため、都心部の店舗は集客に苦戦する状況となったが、対照的に郊外店は入店客数・売上高共に好調に推移した。
- (2) 節電意識が浸透した結果、それに関連して夏の暑さ対策に向けた需要が喚起され、紳士衣料を中心にクールビズ商戦が前倒しでスタートしたほか、リビング分野でも涼感寝具や遮光カーテン等が売上を大きく伸ばしている。
- (3) 震災を受けたアクションとして、各種募金活動や東北物産の訴求など被災地支援をテーマとした各種催事が企画され、都内各店で積極的に展開された。
- (4) 季節催事である母の日商戦は各店好調に推移した。この背景として、震災の影響から家族の絆を再確認する社会的気運が醸成されたことなどが考えられる。日傘、扇子、帽子等の雑貨類、あるいは花、和菓子など定番商材に動きが見られた。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 2店、③減少した: 14店、④不明: 2店
- (3) 4月歳時記 (春物商戦、新生活、花見、昭和の日) の売上 (同上)
 - ①増加した: 1店、②変化なし: 6店、③減少した: 6店、④不明: 8店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見ると傾向値)
 - ①増加する: 1店、②変化なし: 9店、③減少する: 8店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年04月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	114,732,061	100.0	-5.5 (-5.9)
紳士服・洋品	8,885,380	7.7	-3.4 (-3.6)
婦人服・洋品	24,142,381	21.0	-5.5 (-7.3)
子供服・洋品	2,859,660	2.5	3.6 (3.6)
その他衣料品	2,051,665	1.8	-11.2
衣 料 品	37,939,086	33.1	-4.7 (-5.9)
身のまわり品	16,354,204	14.3	-4.2 (-5.6)
化粧品	6,247,348	5.4	-6.4 (-8.5)
美術・宝飾・貴金属	5,666,352	4.9	-10.8
その他雑貨	6,554,411	5.7	-3.9 (-4.1)
雑 貨	18,468,111	16.1	-7.0 (-7.7)
家 具	1,842,825	1.6	-6.9 (-7.2)
家 電	562,394	0.5	-15.0
その他家庭用品	4,746,501	4.1	-6.2 (-6.1)
家 庭 用 品	7,151,720	6.2	-7.1 (-7.2)
生 鮮 食 品	4,556,548	4.0	0.6 (4.3)
菓 子	7,130,302	6.2	-1.4 (0.1)
惣 菜	5,803,156	5.1	-4.3 (-2.2)
その他食料品	8,433,495	7.4	-5.1 (-4.2)
食 料 品	25,923,501	22.6	-3.0 (-1.2)
食 堂 喫 茶	2,716,531	2.4	-9.5 (-9.9)
サ ー ビ ス	2,867,482	2.5	3.3 (0.4)
そ の 他	3,311,426	2.9	-25.7 (-25.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	7,541,552 千円	16.6 (16.2)
従 業 員 数	19,302 人	-8.7
店 舗 面 積	937,107 m ²	0.3

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、2か月連続で全品目がマイナスとなった。また、子供服・洋品が4か月ぶり、生鮮食品が5か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-5.5	-	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-3.4	-0.3	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.5	-1.2	2か月連続マイナス
子供服・洋品	3.6	0.1	4か月ぶりプラス
その他衣料品	-11.2	-0.2	36か月連続マイナス
衣料品	-4.7	-1.6	2か月連続マイナス
身のまわり品	-4.2	-0.6	2か月連続マイナス
化粧品	-6.4	-0.4	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-10.8	-0.6	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-3.9	-0.2	35か月連続マイナス*
雑貨	-7.0	-1.1	2か月連続マイナス
家具	-6.9	-0.1	3か月ぶりマイナス
家電	-15.0	-0.1	4か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-6.2	-0.3	2か月連続マイナス
家庭用品	-7.1	-0.5	2か月連続マイナス
生鮮食品	0.6	0.0	5か月ぶりプラス*
菓子	-1.4	-0.1	2か月連続マイナス*
惣菜	-4.3	-0.2	6か月連続マイナス*
その他食料品	-5.1	-0.4	3か月連続マイナス*
食料品	-3.0	-0.6	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-9.5	-0.2	6か月連続マイナス
サービス	3.3	0.1	13か月連続プラス
その他	-25.7	-0.9	13か月ぶりマイナス
商品券	16.6	0.9	21か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>